



一日だけの小さな小さな

映画館

IN もくもくランド

奥会津の木地師

上映会 & トークショー

2026. 9.27 sun

上映時間 10:00 ~ 11:00 (上映時間 55 分)

トークショー 11:15 ~ 11:45

入場料金 無料

開催場所 道の駅津山もくもくランド物産館
(お食事処木里口のある建物)

定員 50 名まで (事前予約制・先着順)

木と共に育ち 木から多くの事を学び 木に寄り添ってきた町 登米市津山町
「木工芸の里」もくもくランドに 1日だけの映画館

奥会津の木地師

森林資源に恵まれた福島県南部の山間地で昭和初期まで、山から山へ移動して椀などの木地物を作る木地師の当時の生活と技術の再現記録である『奥会津の木地師』。木地師たちは一族で移動性の暮らしを営み、その場所その場所で木地屋敷を作り木地物を作り生活していました。椀づくりが始まると男たちは山へ入り、その場で荒型を作り、女たちが荒型を木地屋敷に運びカタブチ作業、ナカグリ作業と続け、男たちが手引き口クロで椀を仕上げていきます。千年を越す当時の技術や伝統が見事に息づいた民族文化映像研究所作成のドキュメンタリー映像です。

- 文部省特選 ●日本映画ペンクラブ推薦
- 1976年度キネマ旬報文化映画ベスト・テン第3位

民映研作品総覧引用



この映画の
見・ど・こ・ろ

この映画には森や木々と共にあった人間の暮らしと身体が記録されています。身体と道具を使って木が見る見る形を変えていく様子は労働というよりむしろ木々との楽しげなおしゃべりです。そしてそれらは遠いどこかの森ではなく、この東北の森で確かに交わされていたのです。

茅原拓朗 - 宮城大学・教授

トークショー

津山町森林組合 佐々木寿光氏、道の駅津山駅長 西條孝一氏

(聞き手 登米市地域おこし協力隊木工芸支援員高田由美)

過去・現在・これからの登米市の森林や林業、木工芸についてお話しいたします。

【事前予約制】 お申込みは、お電話、もくもくハウスレジ、QRコードよりお申込みください

【お問合せ先及びお申込み】 道の駅津山もくもくランド (津山木工芸品事業協同組合)

〒986-0402 宮城県登米市津山町横山字細屋26-1 TEL.0225-69-2341

【主催】 津山木工芸品事業協同組合 【後援】 登米市



お申込みフォーム